

## 日本物理学会領域 2 役員会 議事録

日時: 2016 年 9 月 13 日 (火) 17:30-19:30

場所: 金沢大学キャンパス KA 会場

司会: 領域 2 代表 上杉喜彦

書記: 領域 2 役員 高橋和貴

出席者: 上杉, 政宗, 藤澤, 井戸, 後藤, 藤岡, 森田, 成行, 高橋

### 報告事項

翌日の領域 2 運営会議の資料について確認を行った。

別紙資料 : パワーポイント資料 PDF と役割分担表(エクセルファイル)

#### 1. 2016 年 10 月からの新役員体制と役割分担の確認

上杉代表より, 新役員体制と役割分担に関して確認があった。

別紙資料参照。

大島さん(京都大), 西浦さん(東大), 蔵満さん(国立中央大学@台湾) が新役員。

#### 2. 学生優秀発表賞に関する報告

➤ 2016 年年次大会では, 応募総数 19 件、内 4 件を選出

➤ 2016 年秋季大会は, 21 件の申し込み。22 日 13 時から審査。

#### 3. 若手奨励賞 (第 11 回 (2017 年)) の案内

2 名の応募, 選考委員 6 名, 委員長は斉藤さん

小林達哉(核融合研): 核融合プラズマに於ける L-H 遷移の物理機構の実験研究

Wang Hao (核融合研): 高エネルギー粒子駆動測地的音響モードのシミュレーション研究

第 72 回年次大会にて受賞記念招待講演 @大阪大学

#審査委員の公表に関して, 何か継続して書面に残す必要がある。

#招待講演時に口頭で審査員の公表はあるが, 書面として現在は残っていない。

#招待講演の受賞者が領域内で決まり理事会へ審議に回る段階で, 審査委員を書面に残すようにする。

#### 4. 2017 年年次大会 招待・企画 (シンポジウム) 講演審議

➤ 招待講演提案

井戸毅 (核融合研)

提案者 藤澤彰英(九大)

➤ シンポジウム提案

① 藤岡慎介(阪大): 電磁波による超臨界・遮断密度プラズマの加熱

② 難波慎一(広島大)：高熱流プラズマ・熱プラズマの物理と工学応用への展開

➤ 企画セッションの提案

新規：児玉了祐(阪大)：高エネルギー密度科学

継続：藤澤彰英(九大)：非平衡極限プラズマ

#企画セッションの位置づけ，申し込みのルールを運営会議で説明し承諾を得る必要がある．その後，今回申し込みがあった2件を領域運営会議で審査に回る．

『議論点は，企画セッションの申し込み条件回数は通算で4回，延長は認めるが再延長は認めない。』等の規約を運営会議で議論の必要有り．

5. 領域委員会の報告

- 別紙資料の通りに，政宗副代表から報告があった．
- 若手奨励賞の選考委員長は，物理学会会員にするようにとのこと．
- プログラム編集委員会への出席役員は，各領域から最低1名．領域2では，原則としてプログラム主担当・副担当の2名が参加する．

6. AAPPS-DPP

AAPPS-DPPの活動報告(菊池さん資料)に関して説明があった．

- 領域2をメンバーとして登録する件に関して，領域2というくくりではメンバーが確定していないため，領域2をAAPPS-DPPのメンバーとして登録するのは難しいとの理事会判断．
- PlasmaMLのメンバーを登録するという手もあるが，現状メールのみの登録であり，メールと氏名が対応していないため，それをどうするか今後2017検討する必要がある．
- DPP2017@成都(中国)に関して，物理学会領域2としては，協賛として参画．

7. 2016年年度大会講演数

- 今秋季大会は136件の講演．2016年年度大会@東北学院大は141件．
- プラ核学会の講演者数が年々増える傾向(515件)にあり，領域2は減少傾向．物理学会の参加者がプラ核に移行している．
- 物理学会の全体の講演数の推移は？

8. その他の案内。

- 物理学会論文賞は11月頃に申し込み締め切り．JPSJ, PTEPへの投稿を積極的に行ってほしい旨，案内があった．
- 懇親会(申し込みは役員会時点で28人)
- Plasma2017について  
主催：応用物理学会  
幹事：プラズマ・核融合学会，日本物理学会(領域2)，日本学術振興会プラズマ材料科学第153委員会

期間：2017.11.20-11.24

場所：姫路商工会議所

9. 次回年次大会の大阪では、ホテル不足が予測されるため、早めに予約をと運営会で呼びかける。
10. 役員内の役割分担(2016.10～)に関して 確認があった。この案で翌日の運営会議に諮る

以上